



平成21年4月13日

各位

会社名 日本水産株式会社  
代表者名 代表取締役社長 垣添直也  
コード番号 1332  
問合せ先 取締役総務部長 佐藤高輝  
(TEL. 03-3244-7181)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年2月5日に公表した平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の通期連結業績予想並びに平成20年5月16日に公表した平成21年3月期の通期個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成21年3月期業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（連結）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	500,000	6,000	0	△11,000	△39円79銭
今回修正予想(B)	495,000	2,000	△3,500	△17,500	△63円30銭
増減額(B-A)	△5,000	△4,000	△3,500	△6,500	—
増減率(%)	△1.0%	△66.6%	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	533,970	7,231	6,758	9,390	33円97銭

（個別）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	326,000	4,300	6,800	4,800	17円36銭
今回修正予想(B)	324,000	△1,100	800	△3,000	△10円85銭
増減額(B-A)	△2,000	△5,400	△6,000	△7,800	—
増減率(%)	△0.6%	—	△88.2%	—	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	337,629	2,997	4,166	5,491	19円86銭

## 2. 修正の理由

個別業績につきましては、水産事業において年明け以降、消費低迷により予想を超えたすりみ、助子、鮭鱒などの販売数量の減少と販売価格の下落があり、棚卸資産の期末評価損（約 28 億円）が発生するとともに、食品事業における原材料価格上昇分の販売単価への転嫁の遅れとファイン事業における医薬原料、健康食品の販売数量の減少がありました。特別損失では、株式会社博多まるきたの民事再生手続き開始に伴い、当社連結子会社である株式会社ニシショウに対して当社が関係会社貸倒引当金（約 26 億円）を計上しましたので（関連情報：平成 21 年 1 月 20 日に公表しました「連結子会社における債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」）、通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想を大幅に下回る見込みであります。

連結業績につきましては、個別の営業利益減少の影響に加え、特別損失では、業績不振が続いているキング・アンド・プリンス社（米国）ののれんと魚病被害等によるチリ鮭養殖会社の工場等固定資産の減損損失等（約 46 億円）がありましたので、通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想を下回る見込みであります。

なお、期末配当予想の 1 株当たり 5 円（年間配当予想 10 円）に変更はありません。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上